令和二年四月二十六日　北海道旭川偉光会館清魂の儀

神　示

「旭川偉光会館」　開所を迎える今(今日)　信者の「あるべき心(姿)」を教えん

今　世界(地球)は　真実の姿に戻るため　時代の力(運命)を受けて　大きく動いている

――人の世の中　心(運命実体)で回る――

万物全ての運命(命)が　重なり合って　この世(世界)は流れている

なれど　人類は　力(努力)を過信し　「正道」が見えずに歩んできた

今　世界は　神の手の中　「真実」　あるべき姿に戻ってゆく

信者は　「教え」を学び

時代の流れ(変化)に心(人生)のまれぬように　あるべき「心の道(姿)」を悟ること

こたびの　感染　伝染の病もしかり

人知の及ばぬ力(変化)の前に

人類は　気付き　「悟り」を深め　「あるべき姿(心)」へ戻ってゆく

皆(信者)に申す

案ずることは何もない

偉光会館の価値を　家族で出入(で)りを重ね　「教え」を学び　悟るべし

そこに　皆(信者)の心(運命)は磨かれ　六つの花びら咲き誇る家(家庭)を手にできる

心(魂)安らぐ家庭を手にするほどに

人(人間)は「神の心」に近づき　重なり

社会の変化に心(人生)のまれずに生きられる

本日　神は　旭川偉光会館に神の力(運命)を宿す

そして　皆(信者)に「館」を託す

「教え」を学び

「正道」　あるべき心を　学び　身に付け　日々(にちにち)歩む皆(信者)であれ

今日(きょうび)日　神は祝う　おめでとう

神　示

きょうを迎えし皆(信者)の心　神は受け取る

案ずることは何もない

「教え」を学び　心(魂)安らぐ家庭をつくる努力を重ねる

そこに　信者は皆　「運命」が導く人生を歩んでゆける